

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（概要）

島本町教育委員会

調査対象・時期

調査対象 中学校2年生
調査時期 令和4年4月～7月の間に各学校において実施

実技集計結果（中学校・男子）

中学校 2年男子	握力(kg)		上体起こし(回)	
	平均値	T得点 【全国を50とした値】	平均値	T得点
R4全国	29.0	50.0	25.7	50.0
R4島本町	29.8	51.1	27.4	52.6
R3島本町	30.9	52.9	26.9	51.4

中学校 2年男子	長座体前屈(cm)		反復横とび(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R4全国	43.9	50.0	51.1	50.0
R4島本町	45.3	51.3	56.5	56.1
R3島本町	40.6	47.2	51.9	50.9

中学校 2年男子	持久走(秒)		20mシャトルラン(回)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R4全国	409.8	50.0	78.1	50.0
R4島本町			76.5	49.4
R3島本町			78.9	49.6

※中学校調査では、「持久走」と「20mシャトルラン」のどちらかを選択するものであり、R3年度、R4年度に実施した生徒はいませんでした。

中学校 2年男子	50m走(秒)		立ち幅とび(cm)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R4全国	8.1	50.0	196.9	50.0
R4島本町	7.8	52.1	198.9	50.7
R3島本町	7.6	55.1	203.4	52.4

中学校 2年男子	ハンドボール投げ(m)		体力合計点(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R4全国	20.3	50.0	41.0	50.0
R4島本町	19.3	48.4	44.6	53.3
R3島本町	20.6	50.5	43.3	52.0

< T得点 >

全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。

実技集計結果 (中学校・女子)

中学校 2年女子	握力(kg)		上体起こし(回)	
	平均値	T得点 【全国を50とした値】	平均値	T得点
R4全国	23.2	50.0	21.7	50.0
R4島本町	23.4	50.3	22.8	52.0
R3島本町	25.2	53.8	22.7	50.6

中学校 2年女子	長座体前屈(cm)		反復横とび(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R4全国	46.1	50.0	45.8	50.0
R4島本町	41.9	46.1	49.7	55.3
R3島本町	39.9	43.8	47.1	51.2

中学校 2年女子	持久走(秒)		20mシャトルラン(回)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R4全国	302.9	50.0	51.6	50.0
R4島本町			53.0	50.7
R3島本町			53.0	49.4

※中学校調査では、「持久走」と「20mシャトルラン」のどちらかを選択するものであり、R3年度、R4年度に実施した生徒はいませんでした。

中学校 2年女子	50m走(秒)		立ち幅とび(cm)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R4全国	9.0	50.0	167.0	50.0
R4島本町	8.7	52.7	164.2	48.9
R3島本町	8.6	53.0	164.6	48.6

中学校 2年女子	ハンドボール投げ(m)		体力合計点(点)	
	平均値	T得点	平均値	T得点
R4全国	12.5	50.0	47.4	50.0
R4島本町	10.7	45.9	47.4	50.0
R3島本町	11.4	46.8	47.9	49.4

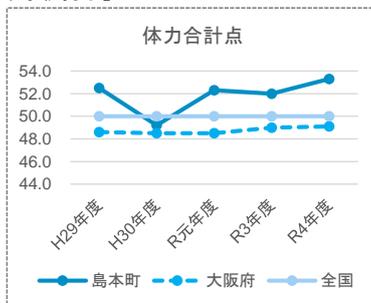
< T得点 >

全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。

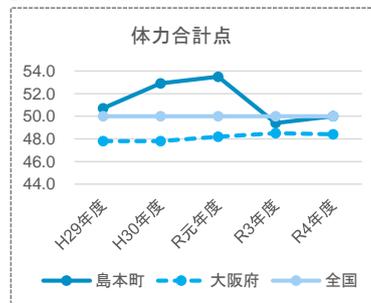
結果の概要 (中学校)

体力合計点の経年比較 (T得点【全国50とした比較値】)

【中学校男子】

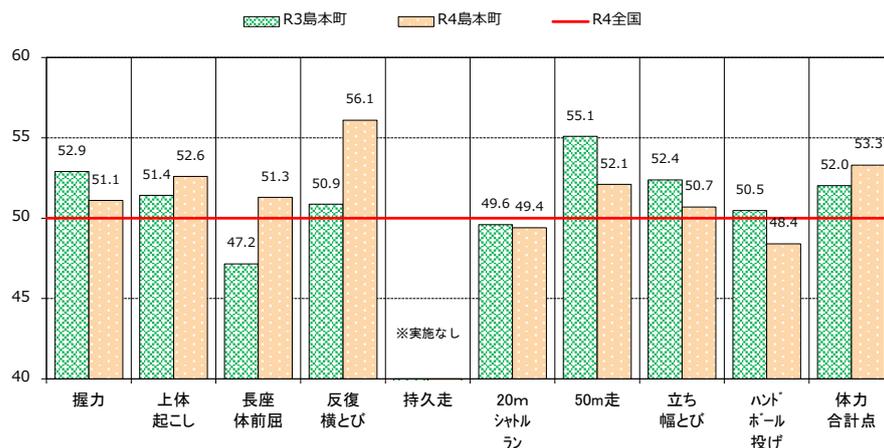


【中学校女子】



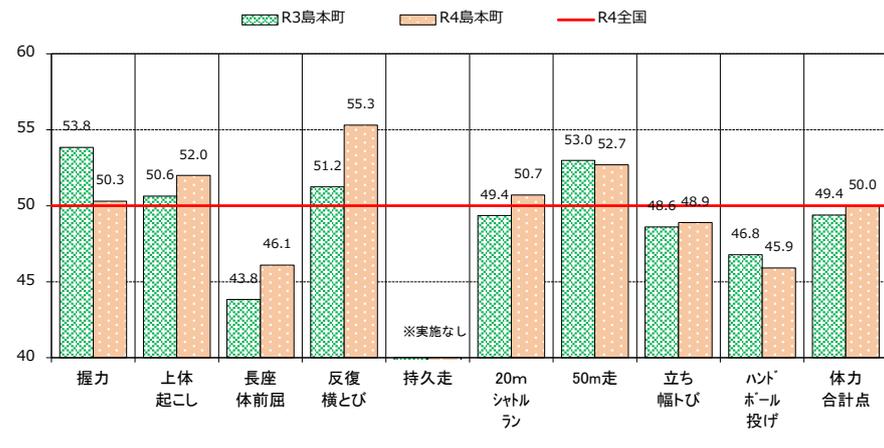
年度	中学校男子			中学校女子		
	島本町	大阪府	全国	島本町	大阪府	全国
H29年度	52.5	48.3	50.0	50.7	48.6	50.0
H30年度	49.2	48.5	50.0	52.9	48.6	50.0
R元年度	52.3	48.8	50.0	53.5	48.6	50.0
R3年度	52.0	48.5	50.0	49.4	48.3	50.0
R4年度	53.3	48.7	50.0	50.0	48.6	50.0

中学校男子 T得点【R4年度全国を50とした比較値】



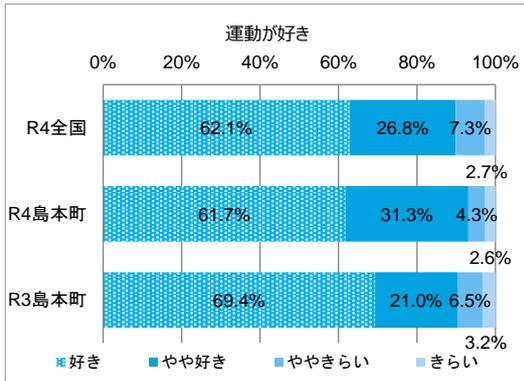
○体力合計点におけるT得点は、島本町は【53.3】で、全国よりも高い。令和3年度【52.0】より増加。
 ○種目別では、「20mシャトルラン」「ハンドボール投げ」以外の6種目が、全国より高い結果となった。また、令和3年度と比べると、3種目でT得点が伸びている。⇒【成果①】
 ●「握力」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」のT得点が令和3年度よりも低い結果となった。⇒【課題①】

中学校女子 T得点【R4年度全国を50とした比較値】

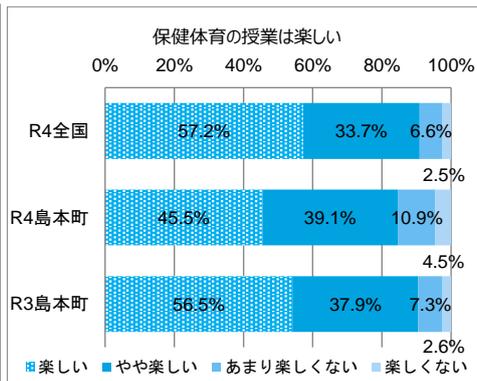


●体力合計点におけるT得点は、島本町は【50.0】で、全国と同値であり、令和3年度の【49.4】から微増している。
 ○種目別では、「握力」「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」で、全国より高い結果となった。また、令和3年度と比べると、「握力」「50m走」「ハンドボール投げ」以外の種目で、T得点が伸びている。⇒【成果①】
 ●「長座体前屈」は令和3年度よりもT得点が向上したが、全国より大幅に低く、「ハンドボール投げ」は令和3年度よりも低い結果となった。
 ⇒【課題①】

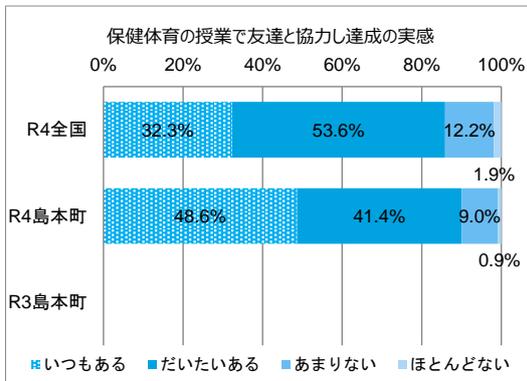
運動習慣等調査（中学校・男子）



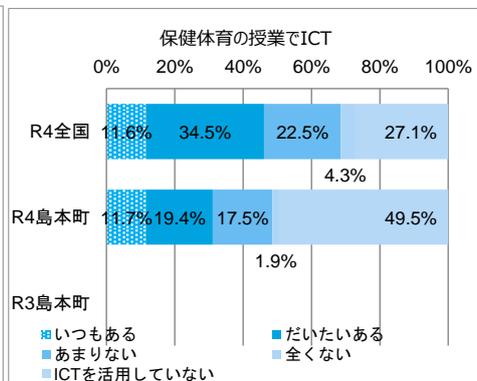
「運動が好き」に関しては、「好き」「やや好き」を合わせた回答が全体の90%以上であり、全国と比較して「好き」の値はほぼ同値となっている。
 ただ、令和3年度と比較すると、「好き」が減少した。
 ⇒【成果①】



「保健体育の授業は楽しい」に関しては、「楽しい」「やや楽しい」の回答が全体の85%程度であり、全国と比較してやや低い結果となっている。
 また、令和3年度と比較すると、「楽しい」が大きく減っている。
 ⇒【課題②】

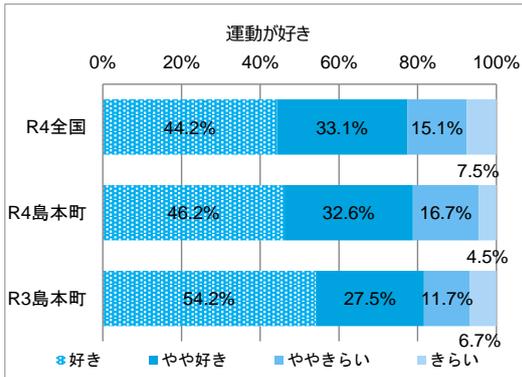


「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」に関しては、「いつもある」「ときどきある」を合わせた回答が全体の約90%で、全国よりも高い結果となった。
 令和3年度は、この質問項目は実施されていない。
 ⇒【成果②】



「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」に関しては、「いつもある」「だいたいある」を合わせた回答が、全体の約31%で全国よりも低く、「ICTを活用していない」の回答が、全体の約50%という結果となった。
 令和3年度は、この質問項目は実施されていない。
 ⇒【課題②】

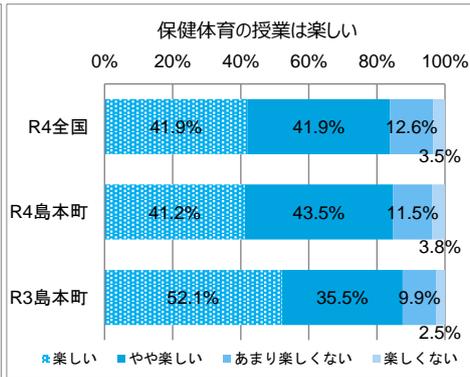
運動習慣等調査 (中学校・女子)



「運動が好き」に関しては、「好き」「やや好き」を合わせた回答が全体の約80%であり、全国と比較すると「好き」が高い結果となっている。

ただ、令和3年度と比較すると、「好き」が減少した。

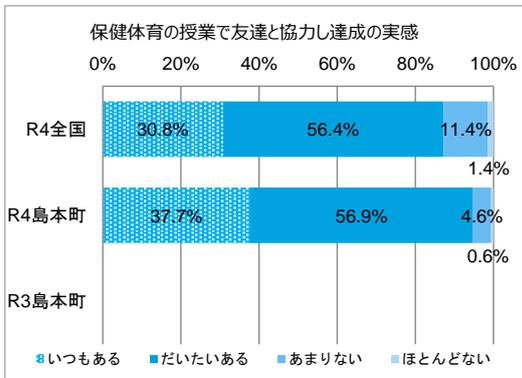
⇒【成果①】



「保健体育の授業は楽しい」に関しては、「楽しい」「やや楽しい」の回答が全体の約85%であり、全国と比較してもやや高い結果となっている。

また、令和3年度と比較すると、「楽しい」が減少し、「やや楽しい」が増加している。

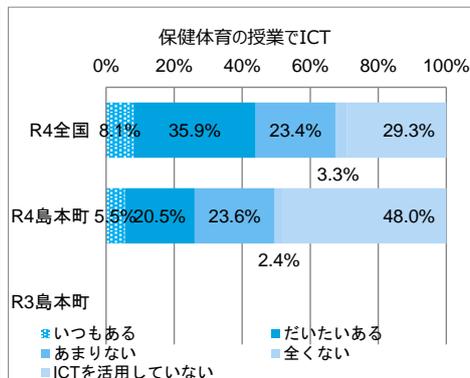
⇒【成果①】



「保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」に関しては、「いつもある」「ときどきある」を合わせた回答が全体の約95%で、全国よりも高い結果となった。

令和3年度は、この質問項目は実施されていない。

⇒【成果②】



「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。」に関しては、「いつもある」「だいたいある」を合わせた回答が全体の26%で、全国よりも低く、「ICTを活用していない」の回答が全体の約48%という結果となった。

令和3年度は、この質問項目は実施されていない。

⇒【課題③】

調査結果の分析と今後の方策【中学校】

分析

【成果①】

・男女ともに「反復横とび」で全国を大きく上回る結果を出している。また、「運動が好き」「保健体育授業が楽しい」の肯定的回答において、高い割合を維持している。コロナ禍においても、感染予防対策を講じながら、体力向上に向けた授業を展開してきた成果であると考えられる。

【成果②】

・「体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかたり」することがありますか。」において肯定的回答が全国よりも高い割合であった。

【課題①】

・女子の「長座体前屈」「ハンドボール投げ」が全国と比べて低い結果となった。「ハンドボール投げ」は男子も全国平均を割っていることもあり、柔軟性と基本的な運動技能である「投げる」について改善を目指す必要がある。

【課題②】

・男女ともに「保健体育の授業は楽しい」に対して「楽しい」と回答する生徒が減少した。終わりの見えないコロナ禍で、改善の兆しが見えては撤回、が繰り返されたことも一つの要因であると考えられる。

【課題③】

・「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかたり」することがありますか。」において、男女ともに約50%の生徒が「活用していない」と回答している。学校独自の事情を加味したとしても、非常に高い数値である。

今後の方策

①保健体育の授業以外でも運動する機会をつくる。

⇒生徒委員会を主体とした取組を推進する。例えば、「全校レクリエーション」「体育的行事」等を通して、生徒一人一人の運動意欲を高め、体力の向上を図るとともに、身体の柔軟性や「投げる」等の基本的な動作の習得につなげていく。

②「できた！」実感のある授業づくり

⇒種目等の楽しさだけでなく、課題を協力して達成した喜びを味わわせるため、協働的な学習ができるように計画する。

③ICT機器の積極的な活用

⇒マット運動等における体の運び方や、球技等における作戦立案や共有時に、一人一台端末を活用して指導する。